

授業形態	開講学部	サービス経営学部		選択	2単位	講義	
	3年次	開講期	前期	ディスカッション	無	学外授業	無
授業科目（英名）	ネットワーク産業論 (Network Industries)						
担当教員名	松澤 祐介 (◎は科目責任者)						
<p>〔授業の概要〕 生活の中で不可欠な、交通、通信といったサービスは国・政府の規制と大きく関係しています。この科目では「ネットワーク」によって成り立つ産業について、経済学的な分析とそれぞれのサービスの具体的な内容、政策的課題を学びます。例えば、通学で使う鉄道の料金は、ラーメンの価格のようにお店（＝事業者）が勝手に決めることは出来ませんが、それはなぜなのでしょう。一方で過疎化の進んだ地方での営業が「もうからない」からといって閉店（＝廃止）する自由はあるのでしょうか。少子高齢化する社会でこれらサービスはどのようにあるべきでしょうか。JAL が経営破たんした際、なぜ政府が「支援」したのか、なぜ地下鉄は「都営」「市営」なのか。このように、政府の介入が大きいサービス産業の分野としてのネットワーク産業を経済学的に分析します。</p> <p>〔科目の位置付け（全学年を通しての関連科目）〕 この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー（3）、すなわち、グローバル経済コースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。、「政府」部門との関係が強く、ホスピタリティだけではとらえられない、鉄道や航空に代表される交通や電話といった電気通信など、「ネットワーク」に依拠する産業を、主として経済学的な観点から分析し、「初級経済学」での知識や、「公益事業論」との関連も踏まえた内容が展開されます。</p> <p>〔到達目標〕 (1) ネットワーク産業のサービス産業としての特性を学修することで、サービスの多様かつ多面性を説明できる。 (2) 交通や通信などのネットワーク産業の特性を知ることによってサービスとしての在り方を説明できる。</p>							
回	授業計画			授業外学修 (事前学修・事後学修)		担当者	
1	ネットワーク産業とは：他のサービス業との違い、政府の役割を学びます。			事前学修（90分）：教科書の序章を熟読し講義の全体像を把握する 事後学修（90分）：第1回授業内容の復習に関するAAA配布課題に取り組む			
2	ネットワーク産業と経済理論（1）：ネットワーク産業と規制について学びます。			事前学修（90分）：教科書の第1部該当箇所を読む 事後学修（90分）：第2回授業内容の復習に関するAAA配布課題に取り組む			
3	ネットワーク産業と経済理論（2）：ネットワーク産業の価格・料金設定の理論を学びます。			事前学修（90分）：教科書の第1部該当箇所を読む 事後学修（90分）：第3回授業内容の復習に関するAAA配布課題に取り組む			
4	交通産業：総論として、明治以降の交通の発達と政府との関係を歴史的に学びます。			事前学修（90分）：教科書の第1部該当箇所を読む 事後学修（90分）：第4回授業内容の復習に関するAAA配布課題に取り組む			
5	鉄道①：我が国の鉄道の発展、歴史的展開を学びます。			事前学修（90分）：教科書の第12章該当箇所を読む 事後学修（90分）：第5回授業内容の復習に関するAAA配布課題に取り組む			
6	鉄道②：鉄道政策、地方鉄道の維持、世界の鉄道政策の傾向を学びます。			事前学修（90分）：教科書の第13章該当箇所を読む 事後学修（90分）：第6回授業内容の復習に関するAAA配布課題に取り組む			
7	航空①：航空サービスの歴史的展開、空港整備の問題を学びます。			事前学修（90分）：教科書の第10章該当箇所を読む 事後学修（90分）：第7回授業内容の復習に関するAAA配布課題に取り組む			
8	航空②：航空サービスと規制、その緩和の帰結を検討します。			事前学修（90分）：教科書の第10章該当箇所を読む（90分） 事後学修（90分）：第8回授業内容の復習に関するAAA配布課題に取り組む（90分）			
9	高速道路：日本の道路政策、高速道路の財源、民営化を学びます。			事前学修（90分）：教科書の第14章該当箇所を読む 事後学修（90分）：第9回授業内容の復習に関するAAA配布課題に取り組む			
10	地方の交通問題：人口減少社会での地方交通のあり方を検討します。			事前学修（90分）：教科書の第18章該当箇所を読む 事後学修（90分）：第10回授業内容の復習に関するAAA配布課題に取り組む			
11	郵政：郵政3事業の展開、民営化をめぐる問題を学びます。			事前学修（90分）：教科書の第6章該当箇所を読む 事後学修（90分）：第11回授業内容の復習に関するAAA配布課題に取り組む			
12	通信①：通信サービスの歴史的展開を学びます。			事前学修（90分）：教科書の第4章該当箇所を読む 事後学修（90分）：第12回授業内容の復習に関するAAA配布課題に取り組む			

13	通信②：通信サービスの民営化、料金体系のあり方を理論的に考察します。	事前学修（90分）：教科書の第4章該当箇所を読む 事後学修（90分）：第13回授業内容の復習に関するAAA配布課題に取り組む	
14	放送：放送と政府との関係を学びます。	事前学修（90分）：教科書の第5章該当箇所を読む 事後学修（90分）：第14回授業内容の復習に関するAAA配布課題に取り組む	
15	ネットワーク産業の政策的課題：効率性、政府の介入のあるべき姿を検討します。	事前学修（90分）：教科書の第3部該当箇所を読む 事後学修（90分）：AAAで配布される全体のまとめとなる演習問題に取り組む	
成績評価の方法と基準		試験の成績（50%）と講義の復習のための提出課題の内容（50%）で評価します	
履修上の留意点			
ディプロマ・ポリシーとの関連		本科目は、サービス経営学部ディプロマポリシーの（1）、（3）と関連しています。特にネットワーク産業のサービス産業としての特性を自ら考える能力を身に着けることが求められます。	
教科書		塩見英治・鳥居昭夫他 『自由化時代のネットワーク産業と社会資本』八千代出版、2017年	
参考書・参考資料		佐藤信之「鉄道と政治」中央公論新社、2021年	
学生との連絡方法		AAAを活用します。	
実務経験科目			